

大きい数値と小さい数値の表し方

物理学を学ぶ上での準備として、大きい数値と小さい数値の表し方を理解しておく必要がある。ここでは、ものすご〜く大きい数値や、とんでもな〜く小さい数値を表すための方法を紹介しよう。

◆ ものすご〜く大きい数値の表し方

(例) 光は、1秒間に 300000000 m 進む

◆ とんでもな〜く小さい数値の表し方

(例) 0.000000000000008 kg の質量の物体

◆ 物理学での 10 のべき乗 ($\square \times 10^n$) を利用した表現方法

(例) 1500000 m を、10 のべき乗表現を用いて表すと・・・？

↓

重要事項

$$\square \times 10^n$$

物理学では□の部分は、 $1 \leq \square < 10$ にすることになっている！

確認問題 次の数値を、10 のべき乗表現を用いて表せ。

(1) 1942 m

(2) 30503 m

(3) 0.001942 s

(4) 0.000030503 s